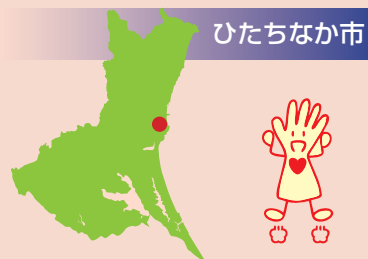


4 クローバーの会



ひたちなか市

サロン運営団体名称	クローバーの会		
サ ロ ン 開 設 年 月	平成 24 年 11 月		
開催日及び開催頻度	ほぼ毎日開催 ※活動により曜日が異なる(10:00～16:00)		
開 催 拠 点	クローバーの会事務局		
代 表 者 氏 名	柳橋 久江		
1 回 の 参 加 人 数	平均 10 人	1 回の運営スタッフ数	平均 2 人
参加費(1人1回あたり)	100 円 ※別途、会費 300 円(月)		

目 的(趣旨)

- “家にこもらない！人生を楽しむ！”きっかけとなる場をつくる。
- 参加者増加を図る活動とし、同時に一緒に作って食べる食事会とすることで、更なる交流を深める。



内 容

65 歳以上の高齢者を対象

- 卓球(ほぼ毎日)、輪投げ、スポーツ吹き矢(第1・3月曜日)、麻雀(第2・4・5月曜日)、野菜作り等の活動を通じた交流。
- 月1回、定期的な成果物発表・展示と手作り食事会など。

生活課題への対応

- 地域の方々(特に高齢者)の健康づくりや余暇活動と地域活性化
- 孤食を避け、楽しいだらんの食事の機会の提供
- 食べて、動いて、しゃべって、みんなで声を掛け合える居場所を作り、孤食・独居・家にこもることを軽減
- 元気な高齢者の住む地域づくり。

継続性

- 自由に、気兼ねなく、クローバーの会が提供する施設や畑を利用できる仕組みとしている。
- それぞれの趣味や活動の成果発表の場をすることで、次はもっと！という意識を醸成している。
- 成果物の評価等を、食事会などの交流の中で行う。

財源の確保

- 参加者負担金(1回100円)
- 会費(月300円)
- 市社協助成金
- 生活学校助成金等、必要に応じて助成機に応募し、活用する。

社会資源の活用

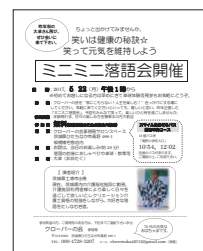
- 代表の所有する施設や畑の活用
- 参加者各個人の趣味・経験やスキルを活用
- 生活上の不安解消のために民生委員等の経験者を交える。

先進性

- 地域の方々が主体性を持ってやりたいことを決め、仲間を集い、定期的にクローバーの会にて活動し、交流を深めていること。
- 食品ロス家計簿の反省を踏まえ、食材の有効活用を図り、第2火曜日に定期開催の仕組みを作る。
- いつでも自由に会場を利用できること。

PR ポイント

- ここに来れば、誰かが何かをしている、ということと、皆様気軽にお越し頂いています。外に出て、ここに来て、みんなで一緒に楽しく過ごしましょう。



これからサロン活動を予定している方へのメッセージ

本助成を受けたことで、みんなで持ち寄ったり、敷地内の畑でみんなが栽培した野菜等を活用したお食事会をすることが定着してきました。時々でも、みんなでわいわいにぎやかに食べることが健康にもつながる。そして、その会話の中から次はこんなことをしたい！こんなのがあろうよ！といった意見やアイデアも上がり、活動が広がっていきます。